

平成25年度

かごしま市 決算のあらまし



目次

- 25年度の主な事業実績 P1
- 25年度決算の状況 P3
- 一般会計決算額の内訳 P4
- 健全化判断比率と資金不足比率 P7

25年度の主な事業実績

「市民が主役の鹿児島市の実現」に向けて、次の7つの基本政策の推進に重点的に取り組みました。

1 創ります！ 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

①桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 〔17,419千円〕

ジオの魅力を生かした活動や桜島の一体的な観光振興に取り組み、平成25年9月に日本ジオパークに認定されました。



②もっとイルカに出会える事業 〔8,425千円〕

イルカ水路におけるイルカの常設展示を進めるため、水門等の実施設計等を行いました。



③明治維新150年“維新のふるさと鹿児島市”PRキャラバン隊宣伝活動事業〔31,132千円〕

薩摩観光維新隊を各地のイベントへ派遣し、本市の魅力を広く全国にアピールしました。

④IAVCEI（ヤブセイ）2013開催支援事業 〔7,224千円〕

国際的な火山会議であるIAVCEI（ヤブセイ）2013年学術総会の開催を支援しました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 桜島大正噴火100周年事業実行委員会負担金
- 外国人観光客受入体制整備事業
- 新聞雑誌記者招聘事業
- 世界文化遺産登録推進事業
- 映画撮影等誘致支援補助金
- 都市農村交流施設整備事業
- など

2 守ります！ 健やかに暮らせる安全で安心なまち

①避難対策事業〔17,294千円〕

災害時の避難体制を強化するため、防災資機材等備蓄計画及び津波避難計画を策定するとともに、新たに津波ハザードマップの作成等を行いました。

②親子つどいの広場整備事業〔220,329千円〕

南部親子つどいの広場「たにっこりん」をオープンするとともに、北部地域の親子つどいの広場の建設に着手しました。



③高齢者いきいきポイント推進事業〔4,755千円〕

高齢者が介護保険施設等で行うボランティア活動や健康診査受診に対し、換金可能なポイントを付与することで、高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進しました。



④児童発達支援事業専門員加算等補助金 〔196,152千円〕

児童発達支援や放課後等デイサービス等の事業所の専門指導員や、重症心身障害児が通う事業所の看護師等の経費に対し助成しました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 原子力災害対策事業
- 8・6水害20周年事業
- 高齢者肺炎球菌予防接種事業
- 保育コーディネーター配置事業
- 認可外保育施設保育料補助金
- こども医療費助成事業
- ひとり暮らし高齢者等安心通報システム設置事業
- チャレンジ大賞表彰事業
- セーフコミュニティ推進事業・対策事業
- など

3 進めます！ 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

①再生可能エネルギー導入促進事業〔7,084千円〕

産学官による研究会において、再生可能エネルギーの利用促進を図るための調査・研究を行いました。

②電気自動車充電インフラ整備事業〔4,913千円〕

電気自動車の普及を促進し、温室効果ガス排出量の削減を図るため、かごしま環境未来館に急速充電設備を整備しました。



③環境子どもサミット開催事業〔3,476千円〕

福岡・熊本・北九州市との四市連携による取組の一環として、次代を担う子どもたちが環境問題を話し合う環境子どもサミットを開催しました。



④グリーンファサードアベニュー調査事業 〔7,140千円〕

鹿児島中央駅から朝日通り交差点間の電車通りに面する民間建築物の壁面緑化に向けた可能性調査を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 公共建築物省エネルギー推進事業
- かごしま環境未来館環境学習推進事業
- 生物多様性地域戦略策定事業
- 生ごみの減量化・資源化推進事業
- 自転車走行ネットワーク形成事業
- 城山公園自然の森再生事業
- など

4 支えます！ 地域産業が元気で生き生きと働けるまち

①新規創業者等育成支援事業〔7,305千円〕

創業スキル養成講座等を開催するとともに、インキュベーションマネージャーを配置し、新規創業者等の育成支援に取り組みました。



②クリエイティブタレント育成支援事業〔13,821千円〕

市内デザイナーのスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、デザインコンテストを開催するとともに、デザイン関連講座の充実を図りました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 農林水産物地産地消推進事業
- 障害者技能向上支援事業
- 市街地再開発促進事業
- 中央卸売市場の整備 など

③いづろ・天文館地区回遊空間づくり推進事業〔8,547千円〕

回遊性のさらなる向上を図り、にぎわいを創出するため、いづろ中央交差点スクランブル化の可能性の検討等を行うとともに、いづろ貸切バス乗降場の供用を開始しました。



④新規就農者支援対策事業〔6,752千円〕

新たにチャレンジファーマー育成モデル事業を実施するとともに、各種研修や施設等の整備に対する補助を行いました。



5 育みます！ 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

①特別支援教育保護者支援事業〔1,097千円〕

障害のある幼児、児童生徒の保護者に対する支援体制を新たに構築しました。

②臨床心理相談員活用事業〔15,102千円〕

いじめや不登校等の悩みのある児童生徒、保護者、教職員に対して臨床心理相談員を活用したカウンセリング等を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 次世代を切り拓く青少年育成事業
- 郡山体育館（仮称）建設事業
- 第30回国民文化祭開催準備事業
- 学校を活用した地域交流・にぎわい拠点推進事業
- 男女共同参画推進条例制定事業 など

③幼稚園就園奨励費補助金〔926,618千円〕

補助単価の引き上げや、多子世帯補助の対象要件を緩和し、就学前教育の充実を図りました。



④文化薫る地域の魅力づくりプラン推進事業〔22,838千円〕

かごしま文化情報センターを設置するとともに、本市ゆかりの美術、音楽、伝統芸能を生かしたイベント等を開催しました。



6 高めます！ 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

①鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業〔56,166千円〕

鹿児島駅周辺整備計画の事業実現に向けた施設の検討や関係機関等との協議を行うとともに、土地利用基本計画に基づき施設基本計画の作成等を行いました。

②谷山地区連続立体交差事業〔3,075,176千円〕

全区間において、高架本体工事を進めるとともに、鉄道施設詳細設計等を行いました。



このほかにも、次の事業を行いました。

- 鹿児島中央駅周辺一体的まちづくり推進事業
- コンパクトな市街地形成促進事業
- 安心快適住宅リフォーム支援事業
- 子育て支援住宅整備事業
- 交通局施設リニューアル事業 など

③都市公園建設事業〔45,586千円〕

喜入中名地区及び星ヶ峯地区に公園を新設しました。



④老朽空き家等対策事業〔946千円〕

安心快適な住環境づくりを推進するため、老朽空き家等の対策として適正管理に関する条例を制定しました。

7 つむぎます！ 市民と行政が拓く協働と連携のまち

①コンビニ交付システム構築事業〔14,808千円〕 コンビニ交付による証明発行事業〔1,446千円〕

コンビニエンスストアで、住民票の写しなどを交付するサービスを開始しました。

②町内会加入きっかけづくり支援事業補助金〔1,051千円〕

町内会が地域の連帯強化を目的として自主的に実施する加入促進活動に対し、補助を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました。

- 弁護士有資格者の採用
- 戸籍・住民票等の郵便・公用請求業務委託事業
- 本庁舎整備事業 など

③コミュニティビジョン推進事業〔7,839千円〕

小学校区を単位とした地域コミュニティ協議会のモデル事業を3地域で実施するとともに、コミュニティビジョン推進戦略会議を開催し、事業の検証・評価を行いました。



25年度決算の状況

区 分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度 繰越財源(D)	実質収支 (C-D)
一般会計	2,435億1,417万円	2,354億1,150万円	81億267万円	20億6,404万円	60億3,863万円

区 分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度 繰越財源(D)	実質収支 (C-D)
特別会計	1,170億9,908万円	1,195億4,569万円	△24億4,661万円	0	△24億4,661万円
土地区画整理事業清算	4,353万円	4,353万円	0	0	0
中央卸売市場	6億2,283万円	6億300万円	1,983万円	0	1,983万円
交通災害共済事業	304万円	304万円	0	0	0
地域下水道事業	7,056万円	6,616万円	440万円	0	440万円
桜島観光施設	1億1,133万円	2,594万円	8,539万円	0	8,539万円
国民健康保険事業	674億2,021万円	706億298万円	△31億8,277万円	0	△31億8,277万円
介護保険	421億4,427万円	417億2,246万円	4億2,181万円	0	4億2,181万円
後期高齢者医療	63億6,255万円	63億404万円	5,851万円	0	5,851万円
母子寡婦福祉資金貸付事業	3億2,076万円	1億7,454万円	1億4,622万円	0	1億4,622万円

区 分	収入(A)	支出(B)	差引(A-B)
企業会計	389億9,865万円	374億5,419万円	15億4,446万円
病院事業	139億4,603万円	136億3,910万円	3億693万円
交通事業	44億1,653万円	43億8,640万円	3,013万円
水道事業	110億8,952万円	101億8,393万円	9億559万円
工業用水道事業	927万円	895万円	32万円
公共下水道事業	71億9,839万円	69億7,217万円	2億2,622万円
船舶事業	23億3,891万円	22億6,364万円	7,527万円

※ 企業会計は収益的収支を税抜き額で表示しています。

【ポイント】

一般会計は、歳入額から歳出額を差し引いた額（形式収支額）は約81億円ですが、ここから翌年度で支払わなければならない繰越財源約21億円を引いた額（実質収支額）は、約60億円となり、前年度に引き続き黒字を確保しました。

特別会計は、9会計の合計で約24億円の赤字となりましたが、国民健康保険事業特別会計においては、26年度からの繰上充用で対応しました。

企業会計は、6会計の合計で約15億円の黒字となりました。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。

主な収入は、市税や国・県支出金などです。

特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理する会計です。

〔25年度 9会計〕

企業会計

地方公営企業（市立病院、交通局、水道局、船舶局）の会計で、民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計です。

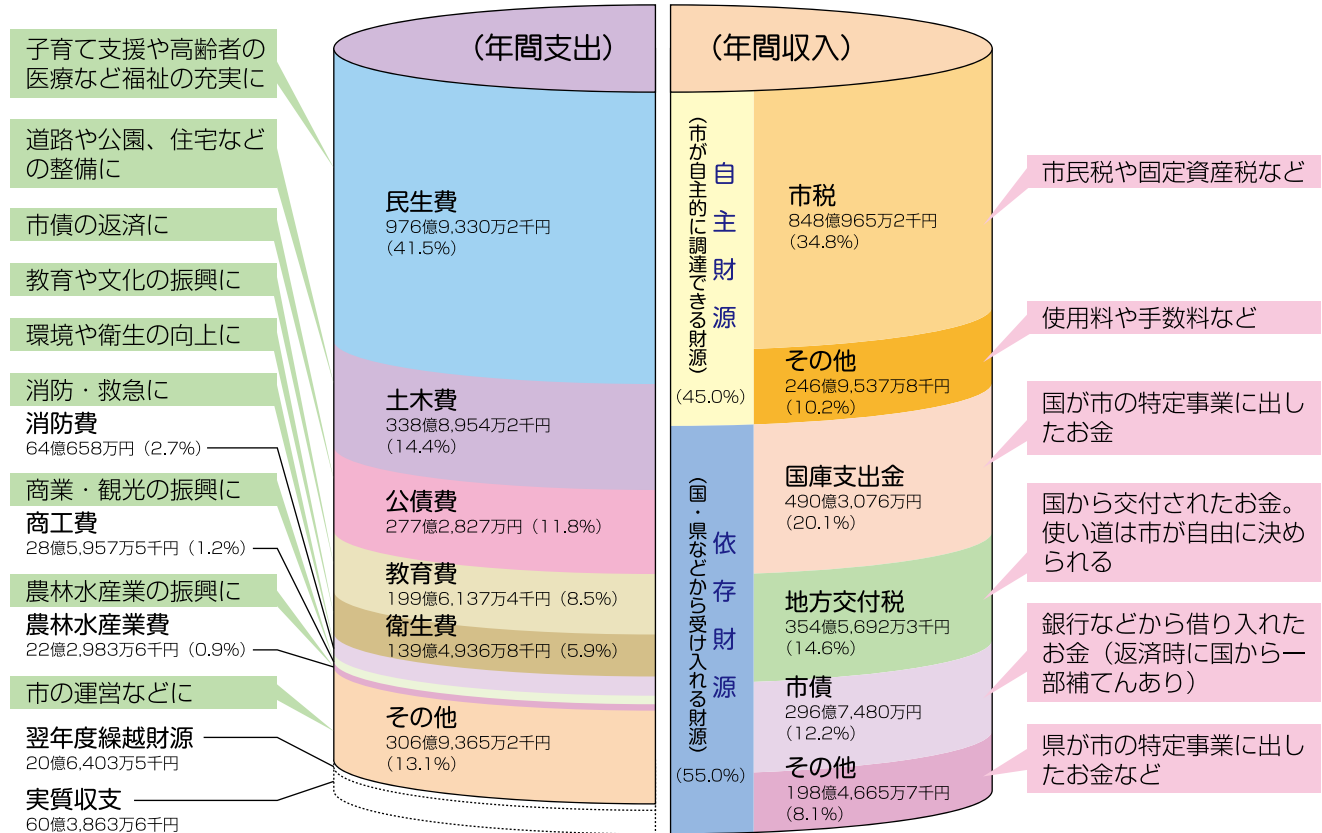
〔25年度 6会計〕

一般会計決算額の内訳

歳入：市税が増加
歳出：民生費が増加

歳出
2,354億1,149万9千円

歳入
2,435億1,417万円



【歳出のポイント】

歳出総額は、約2,354億円で、前年度比約61億円(2.7%)の増となりました。

歳出で最も多いのは、社会保障関係経費である子育て支援や生活保護費などに使われる民生費で、前年度と比較し、約33億円(3.5%)の増となっており、一般会計全体に占める割合が41.5%になりました。

【歳入のポイント】

歳入総額は、約2,435億円で、前年度比約64億円(2.7%)の増となりました。

歳入で最も多いのは市税ですが、市民税の増などにより、前年度と比較し、約20億円の増になりました。この他、街路事業や障害者通所等支援事業の増などに伴う国庫支出金や株式等譲渡所得割交付金などが増となりました。

市民1人当たりの使い道は？

1人当たり約38万8千円のうち、福祉の充実に約16万1千円

一般会計の歳出決算額2,354億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たり
約38万8千円の使い道



○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
約16万1千円

○市債の返済に
約4万6千円



○消防・救急に
約1万1千円



○教育や文化の振興に
約3万3千円



○商業・観光・農林水産業の振興に
約8千円

○道路や公園、住宅などの整備に
約5万6千円



○環境や衛生の向上に
約2万3千円

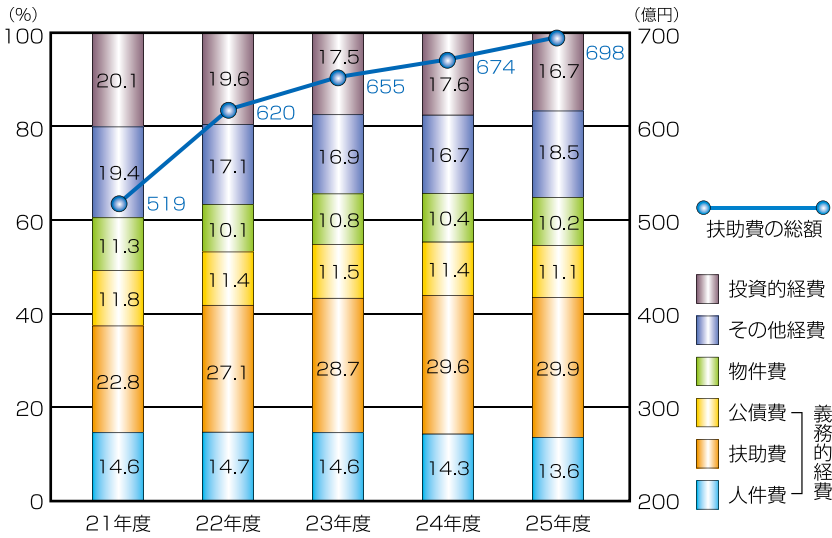


○市の運営などに
約5万円



歳出決算(性質別)の推移(普通会計)

扶助費は年々増加



【歳出決算のポイント】

生活保護や子育て支援、高齢者の医療などの扶助費が、前年度に引き続き増となり、総額に占める割合も年々高くなっています。25年度決算では、29.9%と約3割を占めています。

■用語メモ

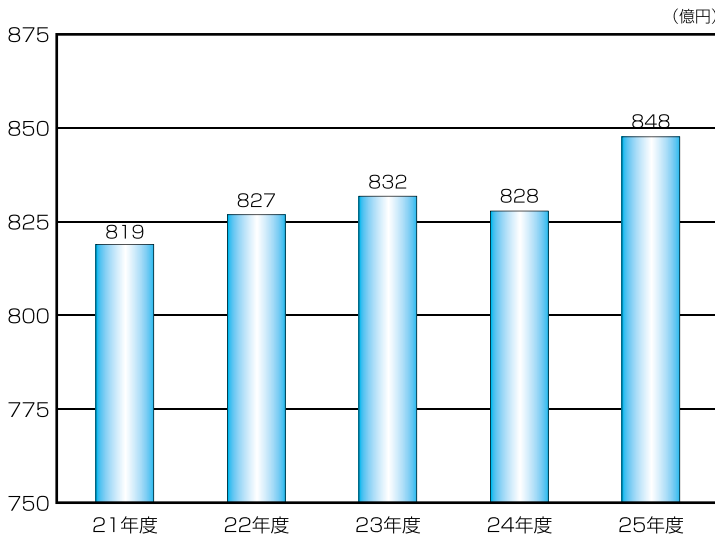
「普通会計」とは、

各市町村の決算状況を統一的に比較するために地方財政統計で用いられている会計区分です。

鹿児島市では、一般会計のほか、土地区画整理事業清算、地域下水道事業、母子寡婦福祉資金貸付事業の3特別会計を合わせたものです。

市税の推移

25年度は前年度より約20億円増加



【市税のポイント】

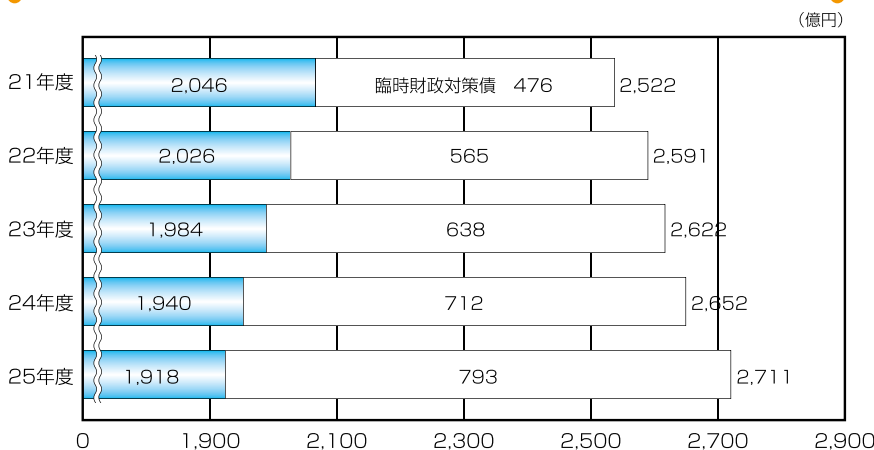
市税は鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源で、市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。

25年度決算では、約848億円の税収があり、歳入全体の約35%を占めています。

(市民1人当たり約14万円となりました。)

市債残高の推移

実質的な残高は年々減少



- グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。
- 左部分は臨時財政対策債を除いた残高です。

【市債残高のポイント】

市債は、将来の市民の皆さんにも公平に費用負担をしていただくため、また、返済時に国から地方交付税が配分される制度を活用する観点から発行しました。

将来、地方交付税として配分される臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は年々減少しています。

(市民1人当たり約32万円となりました。)

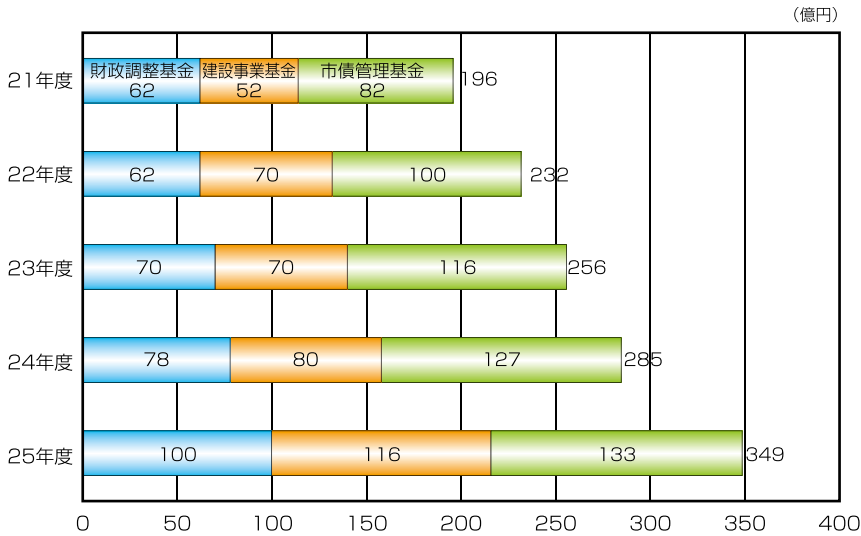
■用語メモ

「臨時財政対策債」とは、

本来は地方交付税として、国から配分されるお金を国の財政上の都合で市が借りているものです。返済はすべて国の負担です。

基金残高の推移

25年度は前年度より約64億円増加



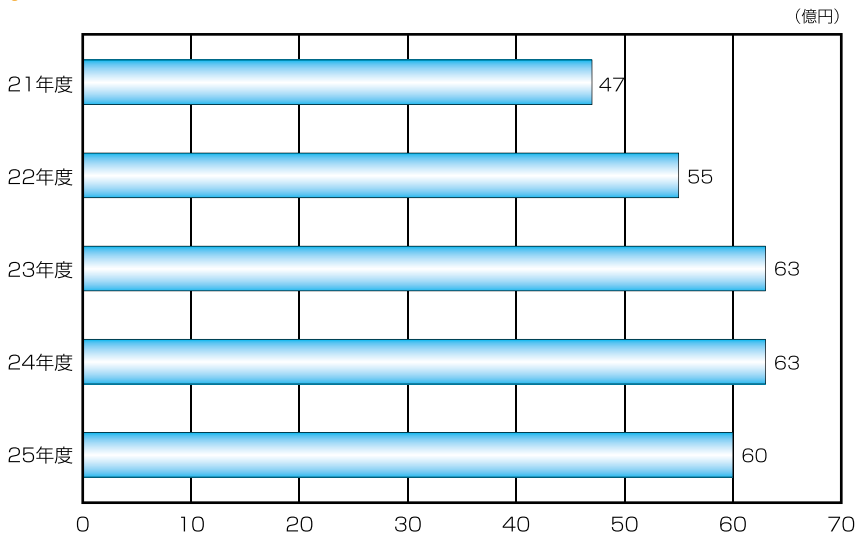
【基金残高のポイント】

基金は、一般家庭の貯金に相当するもので、左の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行っています。

25年度は、前年度に引き続き財源調整機能を高めるため、約64億円を積立て、残高は約349億円になりました。

実質収支の推移

25年度は前年度と同程度の約60億円を確保



【実質収支のポイント】

25年度決算では、前年度と同程度の約60億円の黒字を確保しました。

■用語メモ

「実質収支」とは、その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを示す指標で、歳入と歳出の差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。

25年度決算のまとめ

本市の25年度決算は、前年度に引き続き黒字を確保し、基金残高を増やすとともに、実質的な市債残高も減少するなど、健全な財政運営を維持する中で、さまざまな施策を積極的に推進し、市勢の発展と市民福祉の向上に努めました。

今後見込まれる社会保障関係経費の増大など、財政状況は、厳しさを増していくと思われませんが、プライマリーバランスの黒字を確保しながら、可能な限り、各面からの財源を確保し、事業のしゅん別や見直しを行い、健全な財政運営に努めていきます。

■用語メモ

「プライマリーバランス」とは、借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入の方が多くなれば黒字となり、財政が健全であることを示します。

★予算や決算の状況は、

市ホームページ（【トップページ】→【市政情報】→【財政状況】）をご覧ください。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

健全化判断比率と資金不足比率

※毎年度、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。

● 健全化判断比率

【健全化判断比率のポイント】

市の財政の健全度を測る指標の一つで、基準を超えた場合、計画を定めて財政対策に取り組むこととなります。すべての項目で、早期健全化基準内となっています。

4指標	内 容	25年度決算（速報値）		早期健全化 基準 （イエローカード）	財政再生 基準 （レッドカード）
			中核市順位		
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字の比率	—	—	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算した実質的な赤字の比率	—	—	16.25%	30.0%
実質公債費比率	借入金（地方債）の返済額やこれに準じた額の大きさを示す比率	4.6% (5.1%)	7位/42市 (7位/41市)	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計などの地方債や将来支払う可能性がある負担などを加味した実質的な負債の比率	22.7% (38.7%)	11位/42市 (13位/41市)	350.0%	

※（ ）内は24年度決算

● 資金不足比率

【資金不足比率のポイント】

公営企業会計の財政の健全度を図る指標で、基準を超えた場合、計画を定め、経営改善に取り組むこととなります。1会計（交通事業）に資金不足額があるものの、基準内となっています。

公営企業会計	25年度決算	経営健全化基準
交通事業	7.4% (17.6%)	20.0%
病院事業 水道事業 工業用水道事業 公共下水道事業	船舶事業 中央卸売市場 桜島観光施設 — (—)	

※（ ）内は24年度決算

～「かごしま市決算のあらまし」の作成に当たって～

60万市民の皆さんからお預かりした大事なお金。

市民と協働のまちづくりを進めていくために、大切にに使わせていただきました。

これからの「予算」だけでなく、取組の成果である「決算」を見やすく、わかりやすくお伝えし、あすの鹿児島市につなげていくために「かごしま市決算のあらまし」をまとめました。

市政の主役である市民の皆さんのさまざまなご活躍を、健全財政の維持と創意と工夫に満ちた行財政運営で、これからも支えてまいります。

平成25年度 かごしま市決算のあらまし

編集／発行：鹿児島市財政課

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 ☎099-216-1155